



Subaru

男声合唱団

ニュースNo.645

18. 3. 22

吉田稔「声楽・発声メソッド」特別レッスン ・ふまえてコンサート候補曲を練習 3月16日18日

□ 3月16日(金) 18:00~20:30 昇定例レッスンが開催されました。佃さんの体操と千秋さんからヴォイストレーニングのあと、今日は新進気鋭の声楽指導者・合唱指揮者・ヴォイストレーナーの吉田稔さんを招いて、やなせたかし作詞・木下牧子作曲「さびしいカシの木」(2部合唱)を教材にした声楽レッスンをたっぷり2時間受けました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全36名でした。



□ 3月18日(日) 14:00~17:00 昇定例レッスンが開催されました。佃さんの体操・吉岡さんの滑舌訓練と千秋さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で、「朝露」「君死にたまふことなかれ」を、休憩と連絡報告をはさんで、伊藤副指揮者の指揮で、「夕焼け」をレッスンしました。ピアノ伴奏は西應静さん。参加者は全34名でした。



2018 大阪のうたごえ協議会総会が開催されました！



3月4日(日)大阪国労会館で「2018年度大阪うたごえ協議会総会」が開催されました。昴より鈴木さん・更家さん・吉川・米川さんが代議員として出席しました。鈴木さんから、総会についての報告を兼ねて感想文を寄せていただきました。

2018年度大阪のうたごえ協議会総会に参加して 鈴木淳一

3月4日(日)の午前9時50分に会場に到着。受付を済ませて壇上に向かって一番左端の席に座る。終了が午後3時過ぎだったから約5時間ずっと座りっぱなしだった。

午後8時ころ立川さんが総会の感想文を800字程度で送ってくれたとの連絡あり。学校の先生にも行事の後に必ず感想文を要求する人が多いのを思い出した。

(ここまでは前段で感想は以下の通り。)

各加盟団体の活動報告が活発に報告されて聞いていて気持ちが前向きになった。とりわけ北部の地図に落された団体名が光っているように見えた。

すなわち空白地は今後の取り組み如何という前向きな気持ちが込められていると受け取った。

と同時にもう一方に隠れている政治地図もやはり同じような濃淡を示しているのではないかと見えた。

うたごえ新聞紙面について。岡邑会長の2017度の総括報告にありましたが、すべての加盟団を取材訪問されたということ。その記事はうたごえ新聞にA4の折り込みで読者に配布されました。今後の記事として会長の訪問を受けてどんな様子なのかという折り返しの記事が待たれる。

うたごえ新聞は大阪の活動部分を記事として充実していく必要があるだろう。カラー版は別刷り大阪の各加盟団体の記事からはじめるのが当然ではないのかと。

また、うたごえ新聞の決算案と予算案が示されたが、貸借対照表と損益計算書の形式だったので驚いた。これは商売の会計帳簿である。商売として購読者はそのままで販売者になるという構図。ちょっと納得いかないと思った。しかも損益計算書は帳尻が合っていないまま。専門家でなくとも会計表を見てすぐ分かる大福帳形式ではいけないのかと思った。永いうたごえの歴史だから以上のことも既に討論済みのことだと思うけれど。

発言者の何人かが訴えられた、うたごえは戦うひとたちを励ますという言葉が心に残る。これがうたごえの根幹だろう。

我が家の本棚に掛けてある3月のカレンダーの写真は機動隊車両の前で両手を挙げてカチャーシーらしきものを舞う女性の笑顔だ。その隣で蛇味線を弾く男性も笑顔だ。

この人たちにとっては戦いと歌声は重なる。わたしもパナソニックの裁判闘争など歌声で連帯し励ましていきたいと思った。

さらにまた憲法9条に自衛隊を明記して、陸海空の軍隊を持たないという明文を無きものにする企みを粉砕して、うたごえで孫の命を護らねばとも思った。

連絡・報告事項

(1) 12回昇コンサート企画・選曲について

技術部が中心になって、12回コンサートについて、企画・選曲等真剣な検討が続いています。11回のコンサートの反省・団員全員からのアンケートや意見も踏まえ(うたいたい曲も含む)、18日の運営委員会にも報告され、検討を続けています。

① 千秋ソロとのジョイントコンサートとし、会場は「いずみホール」2019年2月22日(金曜)夜に公演と決定。第1ステージと第3ステージを「昇」、真ん中に第2ステージ「テノールちあき昌弘第2回リサイタル」として3部構成とする。

② 千秋さんソロコンサート部分の演奏予定曲

第5次案の8曲構成から第6次案(3月2日案)8曲構成へ変更。総演奏時間は変わらない(約40分)3月16日千秋さんより曲目変更予定の報告有り(第7次9曲案提示)、尾上和彦曲2曲をどちらか1曲へ絞る予定とのこと。

③ 【12回コンでの「昇」演奏部分の候補曲】昇の総演奏可能時間は55~65分間となる見込み。

○前回の技術部の討議で残っている候補曲は次の通り

「朝露」、「夕焼け」、「蹄鉄屋の歌」、「SIYAHAMBA (South African Folksong)」、「みんなのうた」、「無縁坂」、「未来にかけて」、「津軽のふるさと 北国の春」、林光編曲による日本抒情歌曲集より「浜辺の歌」or「お菓子と娘」or「早春賦」、「日本国憲法前文」、「雪の街」、

○<「昇」がこれまで歌ってきた曲(持ち歌)から>

「春を待つ」「このみち」「林道人夫」「見上げてごらん夜の星を」「まつり」「ねがい」「航路」「アムール河の波」「ヴォルガの歌」「道」「鶯」「鶴」「仕事の歌」「落葉松」「鶇」「歓びのナーダム」「I' ve got six pence」「フィンランディア」「川の流れるように」

○【昇演奏部分企画検討用 たたき台(本並先生案)】が提案されました。

「春を待つ」「浜辺の歌」「夕焼け」「蹄鉄屋の歌」「アムール河の波」「仕事の歌」または「航路」「朝露」「歓びのナーダム」

「津軽のふるさと 北国の春」「君死にたまふことなかれ」「ねがい」「未来をかけて」「無縁坂」「このみち」「I' ve got six pence」

○<たたき台>に基づき討議し、結論として、

- ①ロシア曲としては「航路」「百万本のバラ」の2曲を選択。
- ②「日本民謡を男声合唱で」の意見もあるが好演奏例が多く余程上手に歌えないとダメ。
- ③「蹄鉄屋の歌」(アカペラ曲)は仕上げる迄時間がかかることが予想され12回コン以後のステージ用曲としてもよいとされた。
- ④「橋を作ったのはこの俺だ」(乾さん提案)は乾さん依頼中の男声合唱編曲の出来上りを見て検討する。
- ⑤林光抒情曲集から「浜辺の歌」以外の曲も入れてはとの意見有り。具体曲名が挙がれば検討。
- ⑥ステージ第1と第2の曲目配置は検討する。

○なお、当面のレッスン用譜面を準備していくための曲目を決めました。

「春を待つ」「浜辺の歌」「航路」「百万本のバラ」「津軽のふるさと 北国の春」の5曲。

以上鋭意検討中の段階です。次回の技術部会・運営委員会に向けて更なる曲目の検討と絞り込みが必要です。団員のみなさまのご意見・ご要望を寄せてください。

(2) うたごえ運動70周年記念事業が2018年から2019年に取られます。

「70周年記念大阪うたごえ祭典」2019年5月予定(2回公演)

・大阪うたごえ協議会で企画案が作成され検討が始まっています。

鼎はどのような形で参加するか?一つの案としてロシア民謡はどうか?

「全国うたごえ青年祭典」が2018年7月15日(日)高槻現代劇場中ホールで開催されます。

大阪のうたごえの歓迎演奏曲:「わが大地の歌」「町」(楽譜持って良い)

200人の舞台に立ち、全国から集まる青年たちを歓迎しましょう!

レッスン日 6/3(北部)・6/10(大阪合同)・

4/27・5/25・6/22(紫金草合唱団・公開練習)

協賛金 500円・1000円の協力をお願いします。

(3)「うたごえ運動70年の歩み」の学習会のお知らせ

5月1日 メーデー後 13時~ グリーン会館(予定)

講師 前全国協議会会長 高橋正志氏

高橋さんは『うたごえは生きる力 いのち 平和 たたかい うたごえ70年のあゆみ』を刊行されました。(2018年2月初版)

(4) 西日本合唱講習会について

5月5日 広島にて 講師 高嶋先生(元淀エグリー) 「原爆許すまじ」「こわしてはいけない」・男声合唱あり 被爆地ツアー・被爆者の語り

全国青年祭典歓迎演奏会のための
関西紫金草合唱団による公開練習のお知らせ

練習曲
「町」
作詞 山の木 竹志
作曲 たかたりゅうじ
編曲 信長 貴富
「わが大地のうた」
作詞 笠木 透
作曲 田口 正和
編曲 榊原 あきひろ
指揮 本並 美徳
ピアノ 森 二三

練習日
4月27日(金)午後7:30~8:30
5月25日(金)午後7:30~8:30
6月22日(金)午後7:30~8:30

場所
ねむかホール(谷町6丁目3番出口から3分)

参加費
1回 300円

楽譜の用意がありますので、できましたら合唱団毎に人数を岡邑090-8168-9347までお知らせください。 終了後、毎回飲みニケーションあり、約1500円程度

全国青年祭典
7月15日(日)14:00開演予定
高槻現代劇場中ホール
うたごえ協議会の未来を左右する大事な祭典です。「大阪のうたごえ協議会」挙げての取り組みです。
若者を舞台に送り出して下さい。
歓迎演奏会で若者を迎えましょう!




60?歳 70?歳 80?歳のうたごえ
♪ジェーヴシカ 220 コンサート♪

日時 2018.5.13(日)15:00開演

プログラム

- オープニング 淀川三十石舟唄 平城山
- 一部 <わらべ歌 あそび歌> ほたるこい 山寺の和尚さん
すいすいずころばし うさぎ かぞえうた
どんぐりころころ 通りゃんせ
くみんなでうたおう
- 二部 <特別出演> フェリーチェ弦楽四重奏団 お楽しみ
- 三部 <沖繩と世界の歌> 童神 さとうきび畑
赤いサラファン やなぎ Ave Maria
- エンディング Stand Alone

- 出演者
- 第一ヴァイオリン・伊藤奈由美
 - 第二ヴァイオリン・竹村 美香
 - ヴィオラ・小崎恵理子
 - チェロ・若松さより
 - ピアノ・伴 由美子
 - 民謡 司会・乾 正明
 - 三重唱・ジェーヴシカ

会場 島之内教会



最寄駅 地下鉄堺筋線「長堀橋」駅7番出口徒歩3分
御堂筋線「心斎橋」駅心斎橋出口(大丸側)徒歩7分

入場料 500円 ♪ 開場は30分前です
楽しいひと時を一緒に♪

お問い合わせ:090-5139-4632(代表 乾)